令和6年11月1日

変動型最低制限価格制度における最低制限価格基準額の算出について
(端数処理の説明)

羽咋市が入札する建設工事及び業務委託で、令和6年11月1日以降の入札公告及び指名通知案件より導入する、変動型最低制限価格制度における最低制限価格基準額の算出方法及び端数処理について、下記のとおりとする。

記

1. 変動型最低制限価格制度における最低制限価格算出方法

最低制限価格基準額 × ランダム係数 = 最低制限価格 (円単位※)
<従前の最低制限価格> <改正後の最低制限価格>

※ランダム係数を乗じた結果求められる最低制限価格は、1円未満の端数を切り捨て

2. 最低制限価格基準額の算出方法

(例) 土木工事の算出方法の場合

区分	算定式に基づいた場合	下限値又は上限値の場合
変動型最低制限価格制度における最低制限価格基準額	・直接工事費 × 97% ・共通仮設費 × 90% ・現場管理費 × 90% ・一般管理費 × 68% ※上記の4項目の合計 ※各項目算出時点で、1円未満の端数を切り捨て	10分の7.5 または 10分の9.2
端数処理	上記により算出した額で、千円未満の端数がある場合は切り捨て	上記により算出された額については、千円未満の端数の切り捨てはしない。 (1円未満の端数を切り捨て)

【ケース①】 算定した最低制限価格基準額が、予定価格の10分の7.5から10分の9.2までの場合

区分	※価格	備考
予定価格	6,789,000円	①
【算定】最低制限価格基準額	5,770,650円	② ①の10分の8.5
最低制限価格基準額	5,770,000円	③ 千円未満の端数を切り捨て
ランダム係数	0.9995	④
最低制限価格	5,767,115円	⑤=③×④ 1円未満の端数を切り捨て

【ケース②】 算定した最低制限価格基準額が、予定価格の下限10分の7.5を下回る場合

区分	※価格	備考
予定価格	6,789,000円	①
【算定】最低制限価格基準額	5,023,860円	② ①の10分の7.4
最低制限価格基準額	5,091,750円	③ ②が予定価格の10分の7.5を下回るため、下限である10分の7.5とし、千円未満の端数を切り捨てしない
ランダム係数	0.9990	④ 係数下限を想定
最低制限価格	5,086,658円	⑤=③×④ 1円未満の端数を切り捨て

【ケース③】 算定した最低制限価格基準額が、予定価格の上限10分の9.2を上回る場合

区分	※価格	備考
予定価格	6,789,000円	①
【算定】最低制限価格基準額	6,313,770円	② ①の10分の9.3
最低制限価格基準額	6,245,880円	③ ②が予定価格の10分の9.2を上回るため、上限である10分の9.2とし、千円未満の端数を切り捨てしない
ランダム係数	0.9995	④
最低制限価格	6,242,757円	⑤=③×④ 1円未満の端数を切り捨て

※価格は税抜き